



川俣小学校「学校だより」

輝くひとみ

令和2年2月21日(金) 第38号

教育目標
 ☆すすんで学ぶ子ども
 ☆思いやりのある子ども
 ☆ねばり強い子ども
 ☆たくましい子ども
 発行者 校長 本名 武



スマホ・ケータイ安全教室



19日(水)の第2回学校保健委員会は、PTAの方々とともに、5・6年生も一緒に学ぶ「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」を実施しました。これからの人生の中で、通信や各種情報、決済や娯楽等でも必要不可欠になるであろうスマホ等とのつきあい方は、心身の健康面でも影響大の課題と感じます。仙台市からKD



DIの講師を招き、若年層が陥りやすい3つの危険性について動画と共にご講話いただきました。

- ①ラインでの「文字言語の誤解」による「仲間外し・いじめ」とその立場が逆になった話!
- ②いつのまにかゲーム・ネット依存となり、日常生活が困難になっていく少年の結末!
- ③ネットで出会った少年(自分をよく理解してくれる、実は成り済まし中年)からの突然の脅迫!

どれも怖い内容のお話でした。怖いのは、内容もさることながら、「いつ、どこでも、誰に起こってもおかしくない内容」だったからです。例えば③の話:自分の悩みや友達のことを聞いてくれ、理解してくれる同年代の優しい少年と思っていた相手(実はプロの中年詐欺師)から突然「今までお前が打ち明けてきた秘密を家族や友人、ネット上にばらされなくなかったら、自画撮りを送れ」などと突然脅迫されたら、自分一人で抱えて、従うしかない状況に追い込まれるかも知れないという怖さ。

スマホ等は大変便利な道具です。しかし、便利さと共に、課金等の金銭的な問題や精神的に破綻をもたらす状況もつくってしまう危険性も内在しています。それらのことを具体的に学びました。

めざせ自己新! 「なわとび記録会」



今週は、各学年や学年ブロックごとのなわとび記録会が開催されました。練習の過程でも、励まし合うすばらしい姿をこれまで目にしてきました。例えば、長縄8の字跳びで学年の記録を更新し抱き合って喜ぶ姿やできるようになった技を一生懸命に休み時間に披露する子など、輝くひとみの子どもたちを多く見つけることができました。



なわとびが、新しい技ができるようになる喜びや励まし合う温かさ、そして、自分ができる!という自信をも教えてくれたように思います。お忙しい中、応援に来校いただいた皆さま、誠にありがとうございました。子どもたちの大きな励みと力になりました。



ポーっと生きてんじゃ・・・



ポーっとしていると誰かに怒られそうですが、脳にとっては「デフォルト・モード・ネットワーク」(大切な活動)状態で、脳の情報整理で言うと「雑雑に散らばった多数の本のある部屋」が「きちんと整理された図書室」になる時間帯とのこと。NHKスペシャル「人体」でも芥川賞の又吉直樹氏の脳で「ひらめいた!」瞬間の脳の状態が「ポーっと」と同じ状態を検証していました。この状態は、情報の整理やひらめきの他、記憶力アップや心身の健康面にもよい影響があるとのこと。時と場を選んで(運転中はもちろんダメですが)、ポーっとの効果を実感してみたいと思いました。